REX

EFコントローラ用融着履歴表示ソフト

Trace Ability Service Kit

TASK―融着履歴―

取扱説明書

ご使用前に必ず
お読みください

目次

目次 1
使用上の注意（ハードウェア） 2
使用上の注意（ソフトウェア） 3
Ⅰ.ソフトのインストール 5
　１．　ソフトのダウンロード 5
　２．　融着履歴ケーブルドライバのインストール 5
　３．　融着履歴ソフト「ＴＡＳＫ」のインストール 7
Ⅱ.ケーブルの接続方法 10
　１．　PC の USB ポートに本機の USB 端子を差し込む 10
　２．　コントローラのバーコードリーダ接続端子と本製品を接続 10
Ⅲ.画面説明 11
　１．　メイン画面 11
　２．　接続待機画面 13
　３．　基本データ表示画面 14
　４．　エラー一覧表示画面 15
　５．　融着記録表示画面 17
　６．　過去履歴読込画面 23
　７．　データ変換画面 24
　８．　フォルダオプション設定画面 28
　９．　バージョン表示画面 29
Ⅳ.履歴を取得する 30
　１．　ケーブルを接続する 30
　２．　TASK―融着履歴―を起動する 30
　３．　接続待機状態にする 30
　４．　コントローラの電源を入れる 31
　５．　履歴の送出を開始する（コントローラ操作） 32
　６．　履歴を閲覧する 33
Ⅴ以前取得した履歴を呼び出す 34
　１．　履歴読み出し画面を起動する 34
　２．　読み出したいデータファイルを指定する 34
　３．　履歴を閲覧する 35
Ⅵ.CSV または Excel ファイルに変換する 36
　１．　データ変換画面を起動する 36
　２．　変換するデータファイルを指定する 36
　３．　変換するデータの種類を指定する 38
　４．　変換データの項目を指定する 39
　５．　データ変換を完了する 40
Ⅶ.故障かなと思う前に 41

使用上の注意（ハードウェア）

■ **ぬれた手でケーブルを抜き差ししないでください**
本製品は USB コネクタより給電しております。誤動作や感電・故障などの原因になりますのでおやめください。

■ **プラグをコネクタから引き抜く際は、ケーブル及びケース部分を引っ張らないでください**
ケーブルが破損し、誤動作や火災・感電の原因となります。

■ **本ケーブルの分解・修理・改造はおやめください**
誤動作や火災・感電の原因となります。

■ **ケーブルを無理に曲げたり、きつく束ねたり、引っ張ったり重いものを乗せたりしないでください**
誤動作や火災・感電の原因となります。

■ **引火性のある雰囲気、油煙や湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所での使用や設置はしないでください**
防爆仕様ではありません。引火・爆発・火災・感電の原因となります。

■ **異常な臭い及び加熱・発熱した場合は直ちにコントローラの電源を切り、USB コネクタからケーブルを抜いてください**
本製品は USB コネクタより給電しております。そのまま使用すると、火災・感電等の危険があります。

■ **水気のある場所で使用しないでください**
本製品は防水仕様ではありません。内部に水が浸入した場合、故障・誤動作・火災・感電などの原因となります。

■ **万一、内部に水や異物が浸入した場合、直ちに使用をおやめください**
本製品は防水・防塵仕様ではありません。内部に水や異物が浸入した場合、故障・誤動作・火災・感電などの原因となります。

■ **万一、ケーブルやケースが破損した場合、直ちに使用をおやめください**
本製品は USB コネクタより給電しております。そのまま使用すると、故障・誤動作・火災・感電などの原因となります。

使用上の注意（ソフトウェア）

■ **通信中及びソフトの動作中に USB ケーブルを抜かないでください**

履歴取得ソフトの誤動作を引き起こすことがあります。
さらに取得中の履歴データの消失や、最悪の場合パソコン上の他のデータを破壊してしまう可能性があります。

■ **2重3重にソフトを立ち上げないでください**

履歴取得ソフトの誤動作を引き起こすことがあります。

■ **極力、通信中にソフト及びパソコンを強制終了させないでください**

履歴取得ソフトの誤動作を引き起こすことがあります。

■ **やむを得ない事情で通信中にソフトを強制終了させてしまった場合は、コントローラの漏電ブレーカーを一度 off にしてください**

コントローラが履歴送信状態になっている可能性があります。その場合、そのまま受信操作を行っても正常に受信できません。

■ **発電機や蛍光灯など電磁ノイズを発生する機器の直近で使用しないでください**

誤動作や通信不良の原因となります。

■ **ケーブルの長さに余裕を持って接続してください**

ケーブルに余計な力がかかると、破損や誤動作などの原因となります。

■ **本来の用途以外には使用しないで下さい**

本製品は、ＥＦコントローラ内の融着履歴を取得し、閲覧及びエクセルファイル等に変換する製品です。そのほかの用途に使用しないで下さい。本来の用途以外に使用した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

はじめに

このたびは、ＥＦコントローラ用ＵＳＢ融着履歴取得ケーブル（以下本ケーブル）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
融着履歴取得ソフト「Trace Ability Service Kit(略称『TASK』)」は、本ケーブル専用のユーティリティソフトです。
耐震性に優れるＰＥ管の重要性が急速に拡大し、それとともに融着記録の重要性もますます増大する中、少しでも皆様のお役に立てるものをとの思いをこめまして、追跡可能な情報を(TraceAbility)提供(Service)する道具(Kit)として、お手元に届けさせていただきます。
少しでも皆様のお仕事(TASK)のお役に立てましたら、幸いに思います。

ソフト動作要件

	要求スペック	推奨スペック
ＣＰＵ	使用する OS の要求する スペック以上	使用する OS の推奨する スペック以上
メモリ容量		
ハードディスク容量	200MB 以上の空き容量	400MB 以上の空き容量
ＯＳ	Windows 8.1，10，11 ※　最新の Service Pack・Update が適用されていること ARM 版 Windows を除く	
ＵＳＢポート	ＵＳＢ Ver1.1 以上の Type-A ポートを１つ以上有すること	

- 弊社ＷＥＢサイト(http://www.rexind.co.jp/jp/)より、最新版のソフト・ドライバをダウンロードしてお使いいただけます。

ケーブル製品仕様

名称	ＵＳＢ融着履歴取得ケーブル
ＰＣ側端子	USB2.0 規格準拠(USB1.0,1.1 互換)
ＥＦＣ側端子	ダイアルロック式６Ｐ端子(バーコードリーダコネクタに接続)
電源供給方式	DC5V (USB 端子から供給)
最大消費電力	150mW 以下
伝送規格	(USB)USB1.1 Low-Speed (1.5Mbps) (EFC)RS-232C 準拠

I. ソフトのインストール

※画面は開発中の物であり、実際とは異なる場合があります。

1. ソフトのダウンロード

レッキス工業のホームページ（http://www.rexind.co.jp/jp/）にアクセスして、レッキス工業製 EF コントローラ向け融着履歴ソフト-TASK-をダウンロード※します。
ダウンロードしたファイルは、任意の場所に解凍しておいてください。

※　REX 倶楽部への登録（無料）が必要です。

2. 融着履歴ケーブルドライバのインストール

※　融着履歴ケーブルは Future Technology Devices International Ltd.（以下 FTDI 社）のドライバを利用しています。FTDI 社の改訂により、予告なく画面などが変更される場合があります。

① 解凍したファイルの内、CDM******_Setup.exe（***はバージョンを示す数字）を実行します。

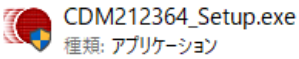


図１ドライバファイル

② ユーザーアカウント制御画面が現れたら、「はい」をクリックします（図２）。
次の画面では、「Extract」をクリックします（図３）。

図２ユーザーアカウント制御

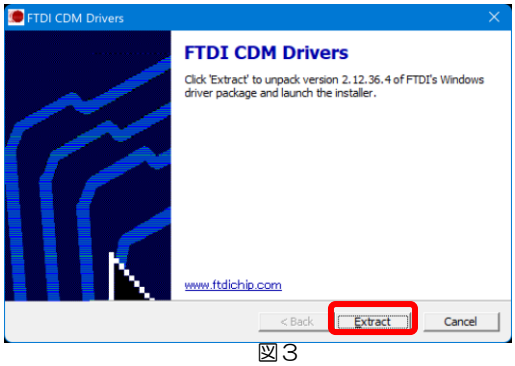


図３

③　次の画面では、「次へ(N)＞」をクリックします（図４）

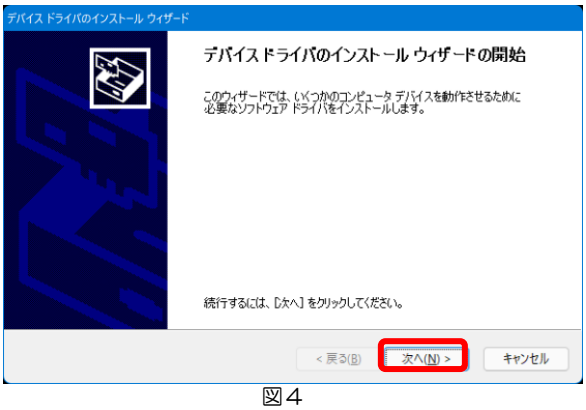


図４

④　使用許諾契約画面になりますので、契約内容を確認し「同意します(A)」をチェックした後に「次へ(N)＞」をクリックしてください（図５）。

図５ 使用許諾契約

⑤　この画面が表示されたら､「完了」クリックしてドライバのインストールは終了です。続いて融着履歴ソフト本体のインストールを行ってください。

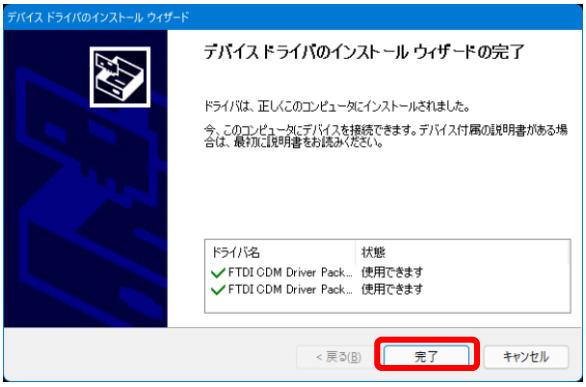


図６

3. 融着履歴ソフト「TASK」のインストール

① 融着履歴ソフト「ＴＡＳＫ」はガス管用・配水管用の２種類が存在します。
ダウンロードして解凍したファイルの中には、それぞれのソフト用のインストールファイルが存在します。以下のうち、必要なファイルを実行してください。

- ガス管用（GEF シリーズ）……TASK_ガス_***.exe
- 配水管用（MEF/JWEF/BEF シリーズ）……TASK_配水_***.exe

※　***はバージョン

図7

② 図８の画面が出たら、「次へ(N)＞」をクリックしてください。

図8

③ 使用許諾をよくお読みいただき、「使用許諾契約の条項に同意します」にチェックを入れて、「次へ(N)」をクリックして先に進んでください。

※ 使用許諾に同意しないと、「次へ(N)」はクリックできません。

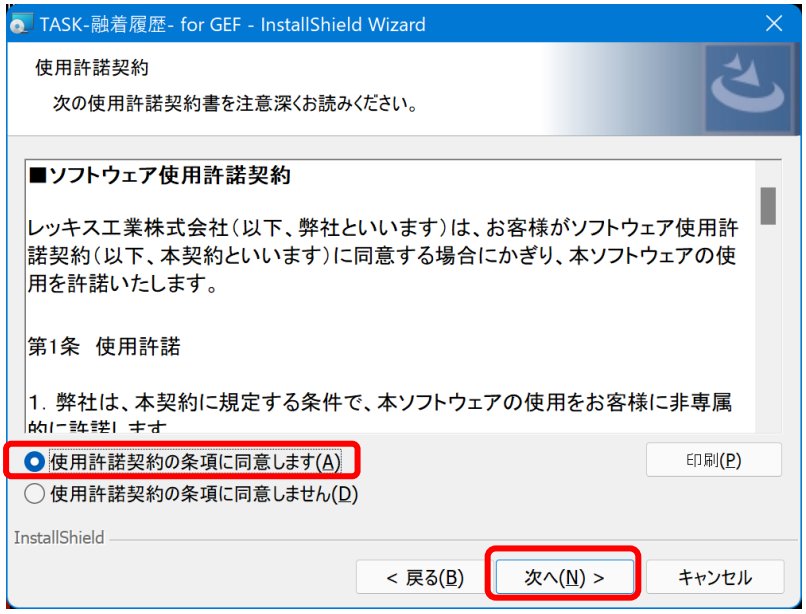


図9

④ 通常はそのまま「次へ(N)＞」をクリックしてください。
インストールする場所を変更する必要がある場合は、「変更(C)...」をクリックして変更してください。

図 10

⑤ 図 11 のような画面が出たら、「はい」をクリックします。

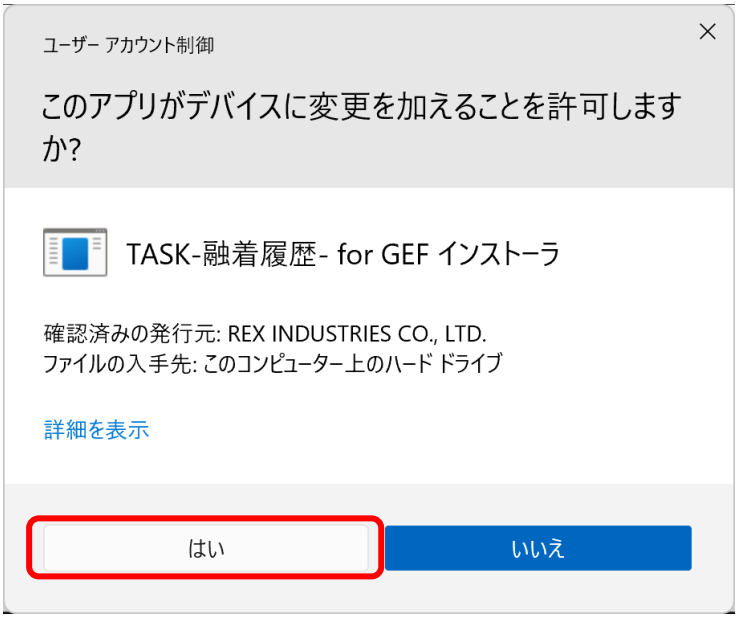


図 11

⑥ インストール完了画面が出たら、インストール終了です。「完了」ボタンをクリックしてください。
ソフトを起動する際はデスクトップ上のアイコンをご使用ください。
スタートメニューにも、TASK-融着履歴-のフォルダが作成され、こちらからも起動できます（本マニュアルもここに格納されています）。

※配水用とガス用では登録されるアイコンが違います。
左：配水用　右：ガス用

図 5

II. ケーブルの接続方法

1. PC の USB ポートに本機の USB 端子を差し込む

USB ポートの場所は、お使いの PC によって異なります。詳しくはお使いの PC の説明書をご覧ください。

図1

- ドライバが見つかりません等のエラーが出た際には、ドライバのインストールがうまくできていない可能性があります。融着履歴ドライバのインストールをやり直してみてください。

2. コントローラのバーコードリーダ接続端子と本製品を接続

バーコードリーダ接続端子の場所はお使いのコントローラによって異なります。
通常は、コントローラの背面、もしくは右側面にあります。
詳しくは、お使いのコントローラのマニュアルをご覧ください。

図2

- 接続端子は、ダイアルロック式になっています。接続の際は、確実にロックしてください。
  ロックが不完全な場合、通信不良や故障などのトラブルの原因となる場合があります。

III. 画面説明

➢ 以降、例示画面は特に記述のない限り、TASK for 配水・Windows11 での標準設定での画面となります。使用 OS や設定により、画面レイアウト等は変化します。

1. メイン画面

ソフトを起動すると、まずこの画面になります。

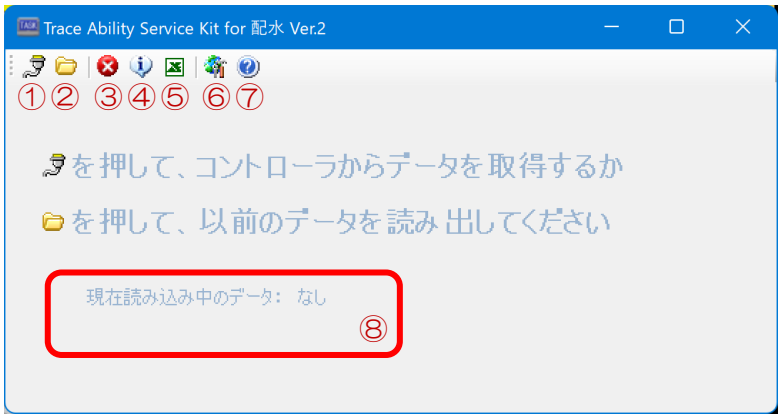


図 1

① 融着履歴取得ボタン

EF コントローラから融着履歴を取得します。接続待機画面に移行します。

② 過去履歴読込ボタン

過去に取得した融着履歴を表示します。過去履歴読込画面に移行します。

③ エラー履歴表示ボタン

現在読み込み中のデータのエラー一覧表示画面を表示します。現在読み込み中のデータ（⑧）が「なし」の場合は表示できません。

④ 融着履歴表示ボタン

現在読み込み中のデータの融着履歴表示画面を表示します。現在読み込み中のデータ（⑧）が「なし」の場合は表示できません。

⑤ エクセル・CSV 変換ボタン

取得済みの融着履歴ファイルを Excel ファイルもしくは CSV ファイルに変換するデータ変換画面に移行します。

⑥ フォルダオプションボタン

コントローラから取得した融着履歴データを格納するフォルダを設定します。フォルダオプション設定画面に移行します。

- デフォルトでは、実行しているユーザーのマイドキュメント（ドキュメント）フォルダに「taskdata」というフォルダを作成し、その中に「dat」（生データ）、「csv」（Excel もしくは CSV ファイル）を格納します。

⑦ バージョン情報ボタン

現在お使いの融着履歴ソフト「TASK」のバージョン情報を表示します。TASK の新しいバージョンがあるかどうかの確認や、起動時にアップデートチェックをするかどうかの設定もここで行います。

⑧ 読み込みデータ表示欄

融着履歴が既に読み込まれている場合、機体シリアル番号・総エラー記録数・総融着記録数を表示します。
読み込み中のデータがない場合には「なし」と表示されます。

2. 接続待機画面

メイン画面から融着履歴取得ボタンをクリックすることで、この画面に移行します。この画面からは右上の×ボタンの他、End または Esc キーで基本画面に戻ることか出来ます。
履歴取得の流れについてはⅣ．作業手順をご覧ください。

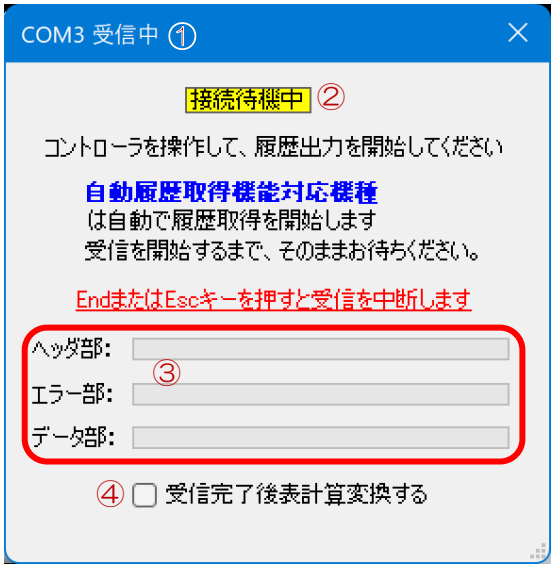


図2

① 接続ポート表示
接続している COM ポートを表示しています。専用ケーブルを 1 本で使用している場合は自動で認識され表示されますので、特に気にする必要はありません。

② 接続状態表示
通常は「接続待機中」と表示されています。コントローラから融着履歴の受信を開始すると、「（コントローラの製造番号）　受信中」と表示が変わります。

③ 受信状態表示ステータス
現在の受信状態を表示します。3 本のバーが全ていっぱいになると受信終了です。

④ 表計算変換チェックボックス
チェックしておくとデータ受信後に直接データ変換画面に移行し、Excel 等のファイルに変換することができます。

3. 基本データ表示画面

この画面はコントローラから融着履歴を取得した直後、及び過去履歴読み出しボタンより過去取得した履歴を読み出した際に表示されます。
この画面の表示をもって履歴の読み出しが完了し、基本画面の読み込みデータ表示欄がこの情報に書き換わります。

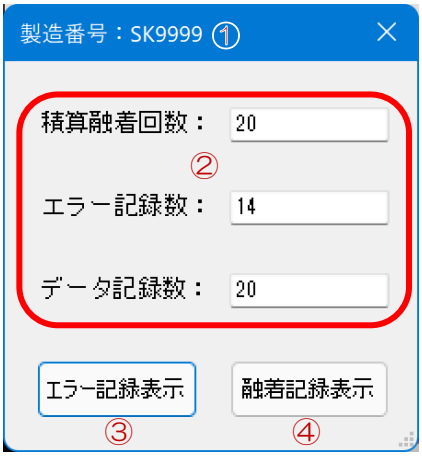


図3

① 製造番号

読み込んだ融着履歴の製造番号を表示します。

② 基本データ表示欄

読み込んだ融着履歴の積算融着回数、エラー・データそれぞれの記録数を表示します。

③ エラー一覧表示ボタン

読み込んだ融着履歴のエラー一覧表示画面を表示します。

④ 融着記録表示ボタン

読み込んだ融着履歴の融着記録表示画面を表示します。

4. エラー一覧表示画面

この画面は、基本データ表示画面でエラー記録表示ボタンをクリックした場合、及びメイン画面よりエラー履歴表示ボタンをクリックした場合に表示されます。

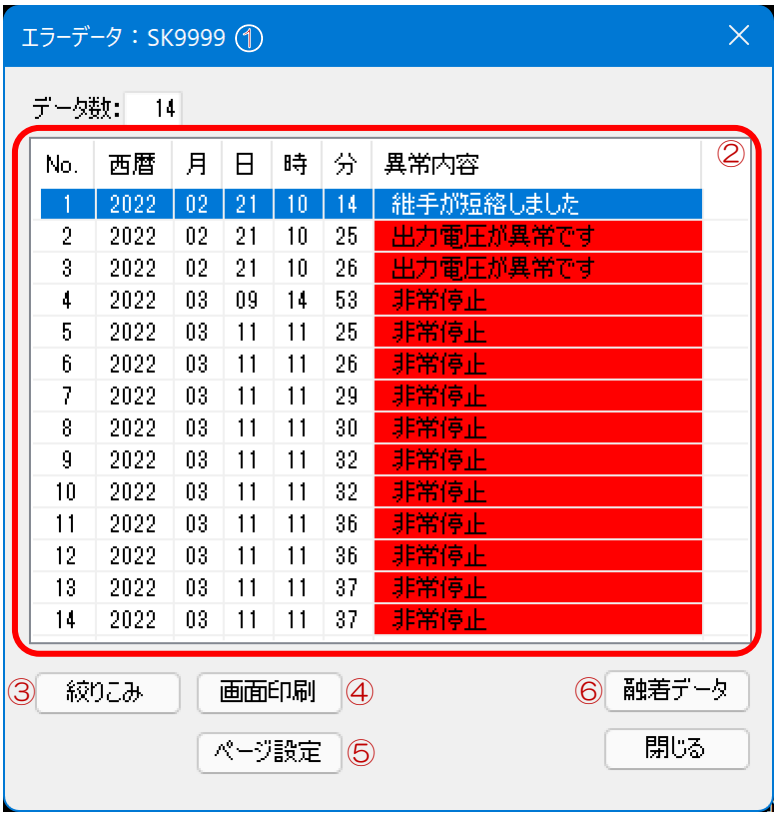


図３

① 製造番号

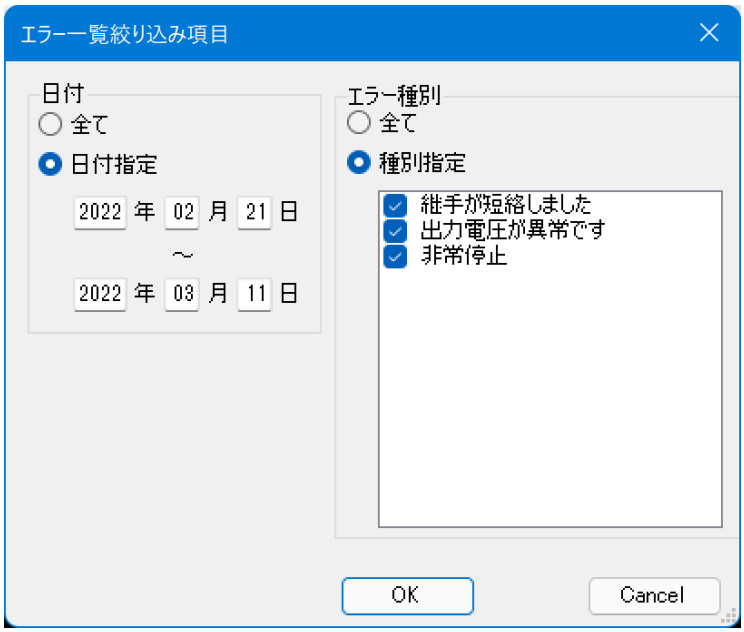
表示中のデータの製造番号を表示します。

② エラー記録表示部分

エラー発生の日時、エラー内容等を表示します。この部分でクリックすると、選択データ（反転表示）がマウスカーソルの位置の記録に変わります。また、ダブルクリックをすると、その記録の融着データを融着記録表示画面で開きます。但し、融着記録の存在しないエラー記録もあります。

③ 絞り込みボタン

任意の日付範囲及びエラー種別でデータの絞り込みを行うことが出来ます。
日付による絞り込みを行うときには ◉ 日付指定 を、エラー種別による絞り込みを行うときは ◉ 種別指定 をそれぞれチェックし、内容を入力及びチェックしてください。OK を押すと、選択した項目で絞り込みが行われます。



- 日付欄の初期値は選択されたデータの一番古い日付～一番新しい日付となっています。
- エラー種別は、選択中のデータ内に存在する項目のみが表示されています。従って、データ毎に内容が変わります。

④ 画面印刷ボタン

現在表示中の画面を印刷します。指定された用紙内に収まるよう、必要があれば縮小して印刷します

⑤ ページ設定ボタン

画面印刷の際のページ設定を行います。

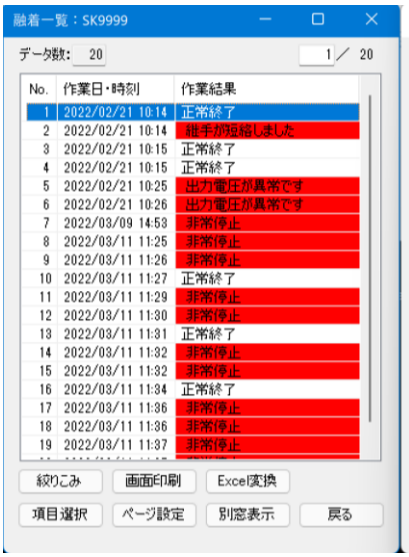
- ④及び⑤は Windows の標準機能を使って実現しています。お使いの PC の設定や Windows のバージョンなどによって操作が変わることがあります。

⑥ 融着データ表示ボタン

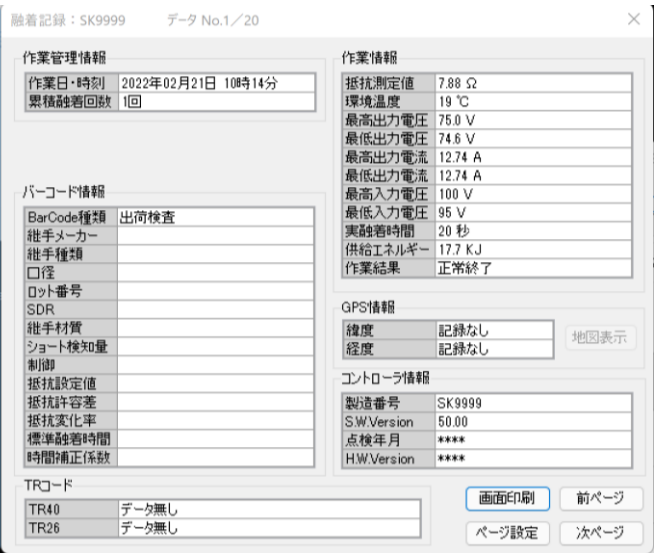
エラー記録表示部分で選択（反転表示）されているデータの融着記録表示画面を表示します。但し、該当する記録が存在しない場合は、融着記録のうち先頭のデータを呼び出します。

5. 融着記録表示画面

この画面は、メイン画面や基本データ選択画面より融着記録表示ボタンを押した場合などに表示される、本ソフトの最重要画面です。
大きく融着一覧画面と融着詳細記録画面に分かれています。
融着一覧画面で選択（反転表示）されているデータの詳細が、融着詳細表示画面に表示されます。
選択されているデータは融着一覧画面内のクリックで変更できるだけでなく、マウスホイールを回すことによっても変更できます。



↑融着一覧画面

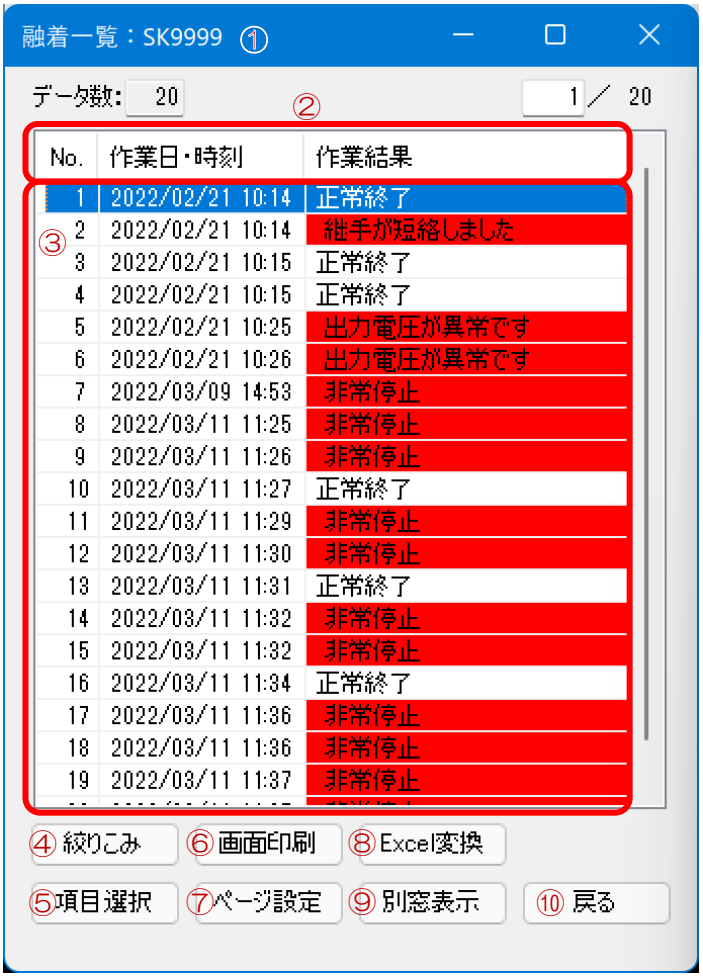


↑融着詳細記録画面

次ページより、それぞれの画面について説明します。

5−1. 融着一覧画面

融着記録の一覧を表示する画面です。融着詳細記録画面とはいわば親子関係にあり、融着一覧画面を閉じると融着詳細記録画面も閉じます。（但し、融着詳細画面を閉じても融着一覧画面は残ります。）



① 製造番号

表示中のデータの製造番号を表示します。

② 融着一覧見出し部分

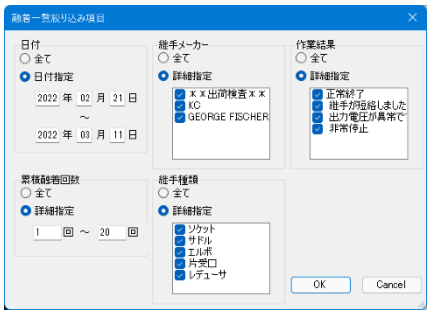
この部分をクリックすると、それぞれの見出しを元にソートして表示します。クリックする毎に昇順・降順が入れ替わります。

③ 融着一覧表示部分

この部分をクリックすると、選択（反転表示）されたデータがマウスカーソルの位置のデータに変更されます。同時に融着詳細記録画面に表示されるデータも変更されます。

④ 絞り込みボタン

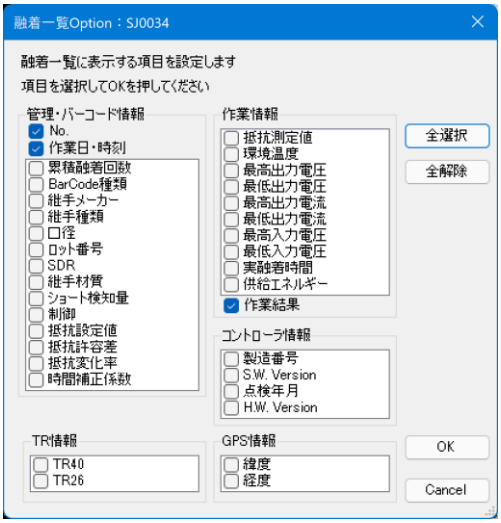
任意の日付範囲、累積融着回数、その他要素で絞り込みを行うことが出来ます。
◉ 日付指定 や ◉ 詳細指定 にチェックをすることで、その項目での絞り込みを行えます。
OK をクリックすると、チェックした項目に合わせて絞り込んだ一覧画面を表示します。



- 日付欄の初期値は、選択されたデータ内の一番古い日付～一番新しい日付となっています。
- 継手メーカー・作業結果・継手種類の各項目は、選択中のデータ内に存在する項目のみが表示されています。従って、データ毎に内容が変わります。

⑤ 項目選択ボタン

融着一覧に表示する項目を選択することが出来ます。初期値では通し番号(No.)、作業日・時刻、作業結果の 3 つだけが表示されています。表示したい項目を選択して OK を押すと項目を増減して表示します。



- ここで表示項目を増やしても融着一覧画面の大きさは変わりませんので、見やすくするためには、融着一覧画面の大きさを変えたり、融着詳細画面を閉じたりして見やすいよう調整することをおすすめします。

⑥ 画面印刷ボタン

現在表示中の画面を印刷します。指定された用紙内に収まるよう、必要があれば縮小して印刷します

⑦ ページ設定ボタン

画面印刷の際のページ設定を行います。

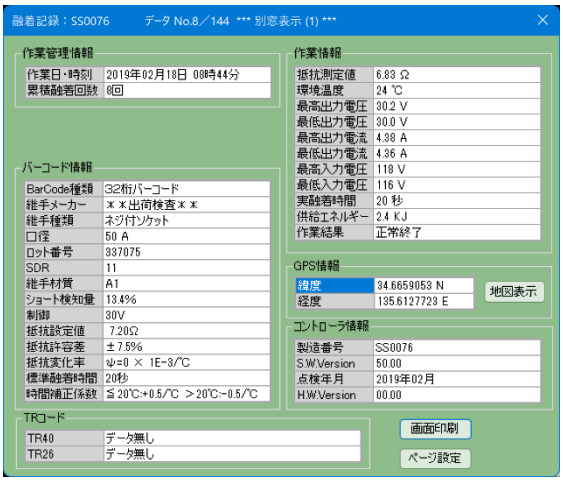
- ⑥、⑦の機能は Word や Excel 等と同じ Windows の機能を利用しています。Windows の種類によって操作方法が異なります。詳しくはお使いの OS のヘルプなどをご覧ください。

⑧ Excel 変換ボタン

現在表示しているデータをエクセル変換する画面を開きます。詳しくは 7-2. データ変換画面②をご覧ください。

⑨ 別窓表示ボタン

現在反転されているデータの融着詳細記録画面を、独立した窓で開きます。
このボタンで開かれた窓の内容は、反転しているデータが変わったり、融着一覧画面を閉じたりしても変化しません。
別窓表示は最大で５つまで表示できます。



- 通常の融着記録詳細画面表示と区別するために、背景色は緑色になります。また、「次ページ」「前ページ」ボタンはありません。他は、通常の融着詳細記録画面と同様です。

⑩ 戻るボタン

融着一覧画面と融着記録詳細画面を閉じ、メイン画面に戻ります。

5−2. 融着記録詳細画面

融着記録の詳細を表示する画面です。融着一覧画面で反転表示されている記録の詳細が表示されます。
この画面を閉じても融着一覧画面は閉じませんが、融着一覧画面を閉じると、この画面も同時に閉じます。

① 製造番号・データ番号

表示中のデータの製造番号及び詳細表示中のデータ番号を表示します。

② 地図表示ボタン（GPS 搭載機種以外では表示されません）

ウェブブラウザを起動し、Google マップ®で GPS にて取得された座標の地図を表示します。PC がインターネットに接続されていないと表示できません。

- この機能は Web 版 Google マップ®の機能を利用して提供しています。画面の地図表示後の操作に関しては、Google マップ®及びお使いのブラウザの操作方法を参照してください。
- Google マップ®の仕様変更などに伴い、予告なく仕様変更などが行われる可能性があります。あらかじめご了承ください。
- Google マップ®に関する権利等はすべて Google 及び Alphabet 社に帰属します。

③ 画面印刷ボタン

現在表示中の画面を印刷します。指定された用紙内に収まるよう、必要があれば縮小して印刷します

④ ページ設定ボタン

画面印刷の際のページ設定を行います。

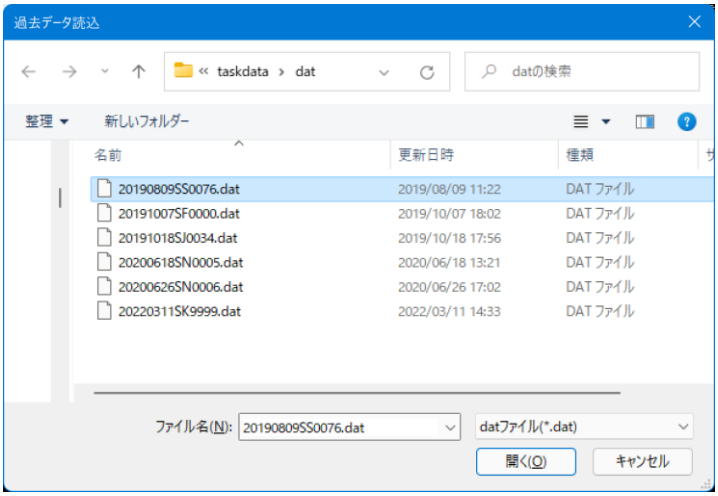
- ③及び④の機能は Word や Excel 等と同じ Windows の機能を利用しています。Windows の種類によって操作方法が異なります。詳しくはお使いの OS のヘルプなどをご覧ください。

⑤ 前ページ・次ページボタン

表示中のデータを一つ前もしくは一つ後ろのデータに移行します。このとき、融着一覧画面の反転データも移行されたデータのものになります。
この操作は、マウスのホイールを奥に転がすことでも同様のことが出来ます。

6. 過去履歴読込画面

メイン画面から 過去履歴読込ボタンをクリックするとこの画面になります。
過去に読み出した融着履歴ファイル（*.dat）を読み出します。この画面は OS によって異なります。
ファイルの上でダブルクリックするか、ファイルを選択して「開く(O)」をクリックすると指定したファイルを読み込みます。



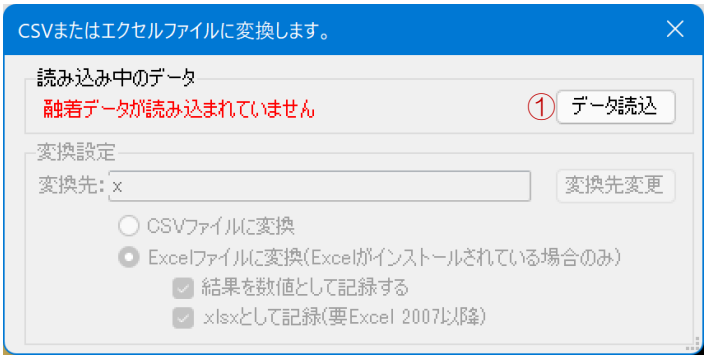
- 読み込めるのは、本ソフトまたは弊社製融着履歴ソフトで取得した拡張子.dat のファイルだけです。
- ガス用と配水用の dat ファイルには、互換性がありません。違う TASK で読み込むと、正常に表示されない可能性がありますのでおやめください。

7. データ変換画面

PC に読み込んだデータファイル(.dat)を汎用 CSV ファイルまたはエクセルファイル（Microsoft Excel がインストールされている場合のみ）に変換する画面です。
読み込まれているデータが存在しない場合は7－1．データ変換画面①が、既にデータが読み込まれている場合には7－2．データ変換画面②が表示されます。

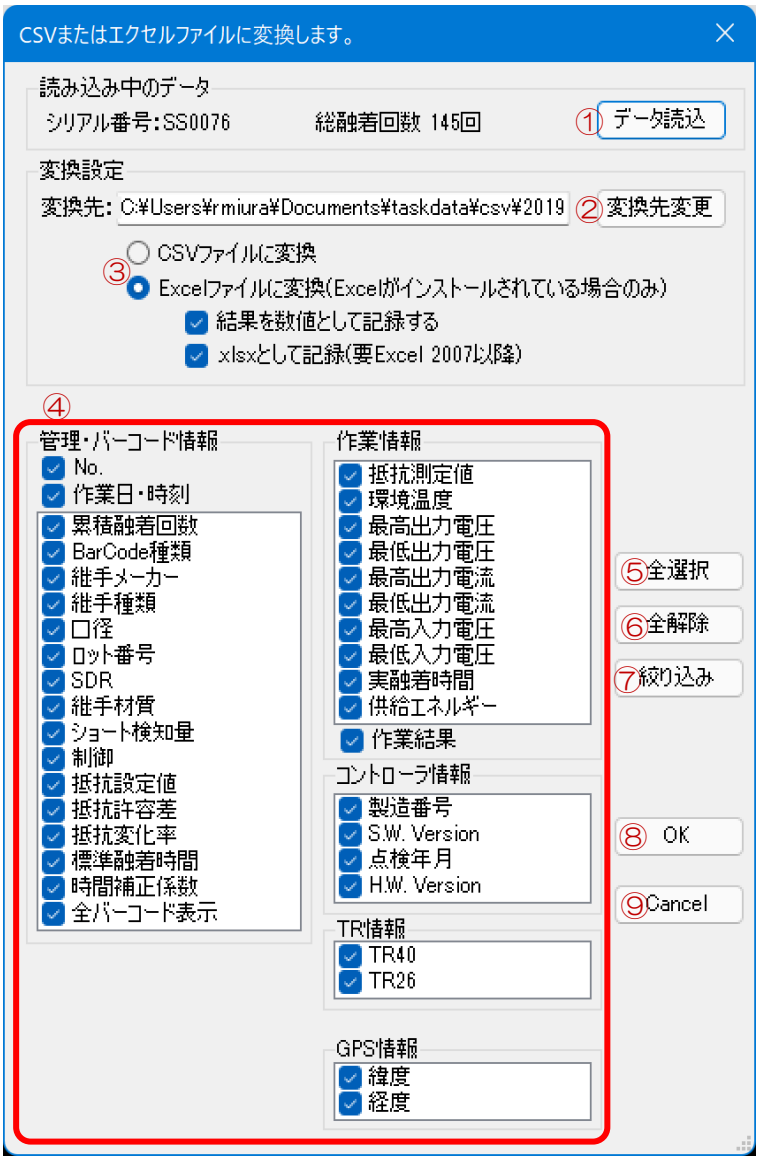
7－1. データ変換画面①

読み込まれたデータが存在しない場合、最初に立ち上がる画面です。この画面の段階では、データ読込ボタン以外は操作できません。
Excel ファイルまたは CSV に変換するファイルを読み込むと７－２．データ変換画面②に移行します。



① データ読込ボタン
変換する元のファイルを読み込みます。クリックすると、フォルダオプションで指定したフォルダが開きますので、読み込みたいファイルを選択してください。
データが読み込まれると、７－２．データ変換画面②に移行します。

7−2. データ変換画面②



① データ読込ボタン

データを再読み込みして、変換対象のデータを変更します。クリックすると、フォルダオプションで指定した.dat 保存フォルダが開きますので、読み込みたいファイルを選択してください。読み込んだデータのシリアル番号・総融着回数が左側に表示されます。

データを再読み込みした場合、⑦絞り込みボタンで設定した絞り込み条件は解除されますのでご注意ください。

- 融着一覧画面の「Excel 変換」ボタンから移行した場合は、このボタンは表示されません。

② 変換先変更ボタン

変換して作成されるファイルを指定します。データを読み込むとフォルダオプションで指定した表計算データ保存フォルダに自動的に日付＋シリアル番号のファイル名で変換先ファイルが指定されます。別の場所に保存したい場合や、別の名前で保存したい場合は、このボタンから変更してください。

③ 変換形式設定トグルボタン

CSV ファイルもしくは Excel ファイルのどちらに変換するかを選びます。
但し、Microsoft Excel がインストールされていない場合、Excel ファイルは選択できません。

✧ 「結果を数値として記録する」チェックボックス
チェックすると、Excel 変換のときに電圧・電流や抵抗などの数値で表現できる一部の値が文字列ではなく数値として変換されます。
CSV ファイルに変換する場合はチェックできません。

✧ 「.xlsx として記録」チェックボックス
チェックすると、xls 形式（Excel2003 以前の Excel ファイル形式）ではなく.xlsx 形式（Excel2007 以降で新規採用された Excel ファイル形式）に変換されます。
Excel2007 以降がインストールされていない場合はチェックできません。

④ 変換項目選択エリア

チェックされた項目のみが、変換されたファイルに記載されます。「管理・バーコード情報」セクションの「No.」「作業日・時刻」、「作業情報」セクションの「作業結果」は必須となります。
対象機種により一部表示される項目が違います。

⑤ 全選択ボタン

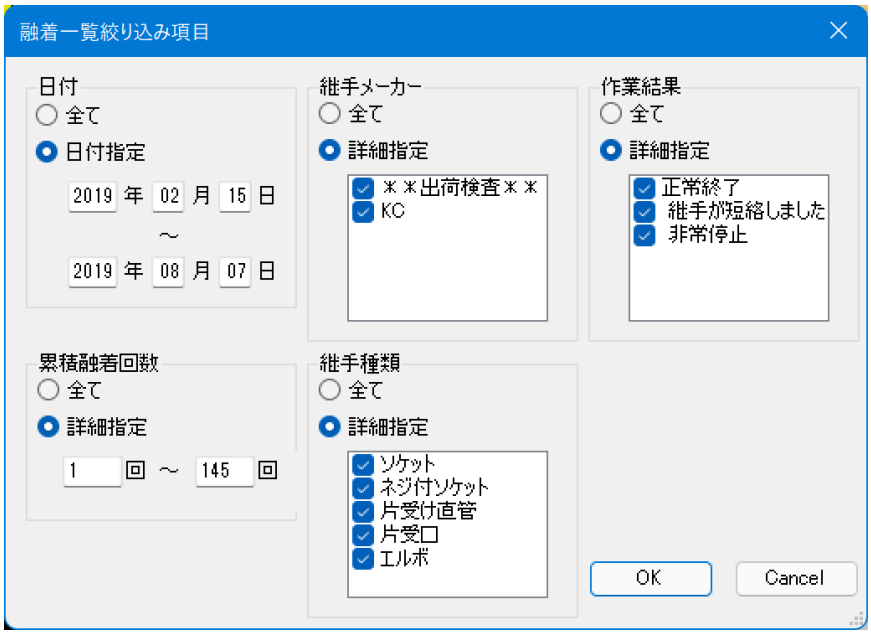
④変換項目選択エリアの全ての項目がチェックされた状態となります。

⑥ 全解除ボタン

④変換項目選択エリアの「No.」「作業日・時刻」「作業結果」を除く全ての項目のチェックが解除されます。

⑦ 絞り込みボタン

任意の日付範囲、累積融着回数、その他要素で絞り込みを行うことが出来ます。
日付指定 や 詳細指定にチェックをすることで、その項目での絞り込みを行えます。
OK をクリックすると、チェックした項目に合わせて絞り込んだデータのみの変換を行うことができます。



- 日付欄の初期値は、選択されたデータ内の一番古い日付～一番新しい日付となっています。
- 継手メーカー・作業結果・継手種類の各項目は、選択中のデータ内に存在する項目のみが表示されています。従って、データ毎に内容が変わります。

⑦ OK ボタン

①～④の設定に基づいてデータを変換します。Excel 変換が指定されている場合は、自動的に Excel を立ち上げ、データシートを表示します。お使いの PC によっては、Excel の画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。

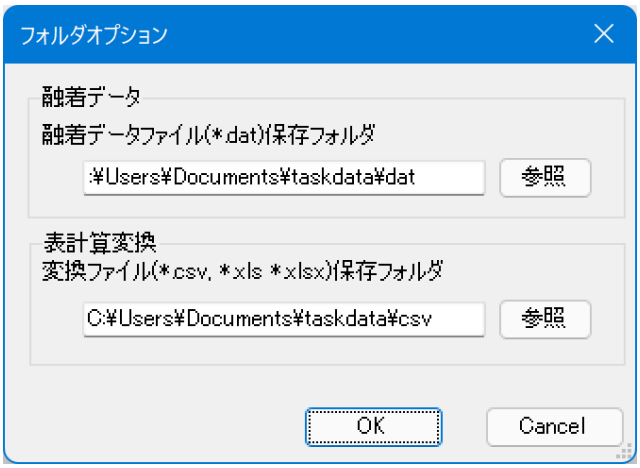
⑧ Cancel ボタン

この画面の全ての設定を無効にして、元の画面に戻ります。

8. フォルダオプション設定画面

融着記録のバイナリデータ（.dat）や表計算変換したファイル（.CSV or .xls）を保存するフォルダを指定します。
規定値は以下のようになっています。
融着データ：（マイ）ドキュメントの中の'taskdata'フォルダの中の'dat'フォルダ
表計算変換：（マイ）ドキュメントの中の'taskdata'フォルダの中の'csv'フォルダ

- OS や設定によっても異なりますが、一般的にドキュメントは Users フォルダの現在ログインしているユーザーフォルダに作られます。



ここでの設定は、プログラムを終了させても、次回起動時に引き継がれます。

9. バージョン表示画面

TASK―融着履歴―のバージョンや対象機種などの情報を表示します。

① アップデート確認ボタン

PCがインターネットに接続されていれば、現在のバージョンより新しいTASKが存在するかどうかを調べます。最新のTASKが存在した場合、ダウンロードしてアップデートを行うかどうかの選択肢が出ます。

② 自動アップデートチェックボックス

ここがチェックされていると、TASKの起動時に（インターネットに繋がっていれば）最新のTASKが存在するかどうかを確認します。インターネット接続環境以外で使うなど、確認をさせたくない場合はチェックを外してください。

IV.履歴を取得する

ここでは、実際に融着履歴を取得する手順を説明します。作業を始める前にⅠ.インストールをよく読み、ソフトのインストールを完了させておいてください。

1. ケーブルを接続する

PC の電源を入れ、Windows が起動したら、PC の USB ポートにケーブルを差し込み、他方をコントローラのバーコードリーダ端子に接続してください。接続方法については、Ⅱ.ケーブルの接続方法をご覧ください。

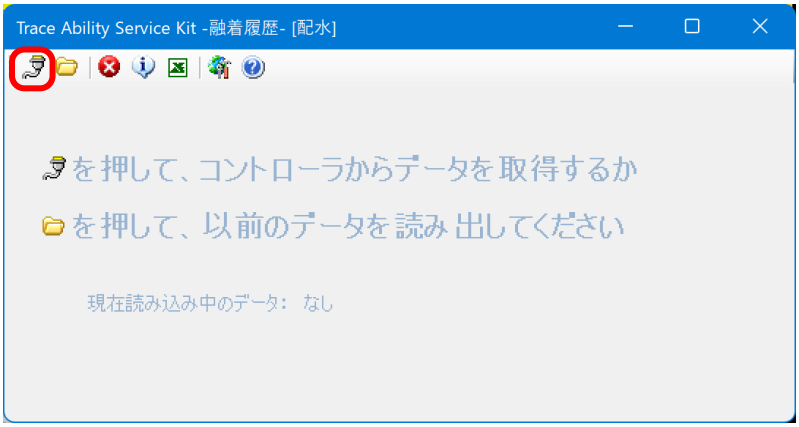
2. TASK―融着履歴―を起動する

デスクトップにあるアイコンをダブルクリックするか、もしくはスタートメニューより TASK―融着履歴―を起動させてください。

- 複数のソフトをインストールしている場合は、融着履歴を取得する対象の機種に該当するソフトを起動してください。対象外のソフトを使った場合、正しく融着履歴を取得できません。

3. 接続待機状態にする

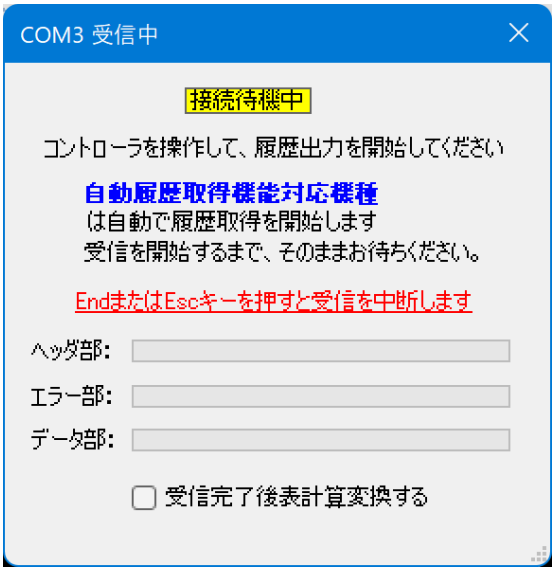
メイン画面から、をクリックして接続待機画面にします。



※ この時、PC がインターネットに接続されていて、現在お使いのものより新しいバージョンが存在する場合、アップデートの案内画面が出ることがあります。この案内を表示させたくない場合は、バージョン表示画面より設定できます。

4. コントローラの電源を入れる

コントローラ側のコンセントを接続し、漏電ブレーカーを「入」にしてください。
２００９年以降発売の機種ではこの時点で自動認識し、履歴の受信が始まります。



- 専用の USB ケーブルが見つかりませんとの表示が出る場合は、ケーブルの接続をもう一度確認してください。
  ケーブルが正常に接続されている場合は、融着履歴ケーブルドライバのインストールをもう一度行って見てください。

- 複数の USB 融着履歴ケーブルを PC に接続している場合、ポートの選択画面が出ることがあります。使用するポートを選択してください。
  使用するポートがわからない場合は、一度任意のポートを選択した後「End」or「Esc」キーを押す、もしくは ☒ ボタンをクリックして待機画面を終了させ、使用しないケーブルを外してもう一度３．接続待機状態にする作業を行ってください。

- 「受信完了後表計算変換する」にチェックしておけば、受信終了後すぐにデータ変換画面②が立ち上がり、そのまま表計算（CSV or Excel ファイル）に変換できます。

5. 履歴の送出を開始する(コントローラ操作)

コントローラを操作し、履歴の送出を開始します。

- ２００９年以前に発売された機種でのみ、この操作が必要になります。
  具体的には GEF200B(無印), MEF200(無印)等が該当します。

以下はお使いのコントローラでの操作になります。コントローラの取扱説明書の付属機能→補助機能→融着履歴データ送出も合わせてご覧ください。

① コントローラの電源プラグを差し込み、漏電ブレーカーを「入」にします。

② コントローラの「F1」キーを長押しします。

```
補助機能選択          ０：終了

１：数値表示          ２：バーコード
３：履歴出力        （４：消去）
```

③ コントローラの「３」キーを押します（以下の画面になります）
※お使いのコントローラによっては、さらに「１：パソコン」キーを押します。

```
作業履歴の出力

コンピューターの準備が OK なら
［スタート］を押して下さい
```

④ コントローラのスタートを押します（以下の画面になります）

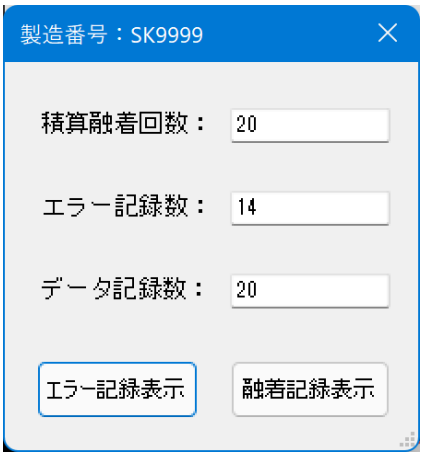
```
作業履歴の出力中

しばらくお待ち下さい
＊＊＊＊＊＊＋
```

このとき、PC の画面上でもプログレスバーが動き、全てのバーがいっぱいになると、履歴の取得は完了です。

- 履歴取得完了と同時に履歴データファイルが作成されます。データファイルの存在場所はフォルダオプションで指定したフォルダです。
- データファイルの名前は、取得した日付＋製造番号（シリアル番号）になります。

6. 履歴を閲覧する

履歴の取得が問題なく完了すると、以下の画面になります。「エラー記録表示」「融着記録表示」のそれぞれ閲覧したい方を選んでクリックして下さい。



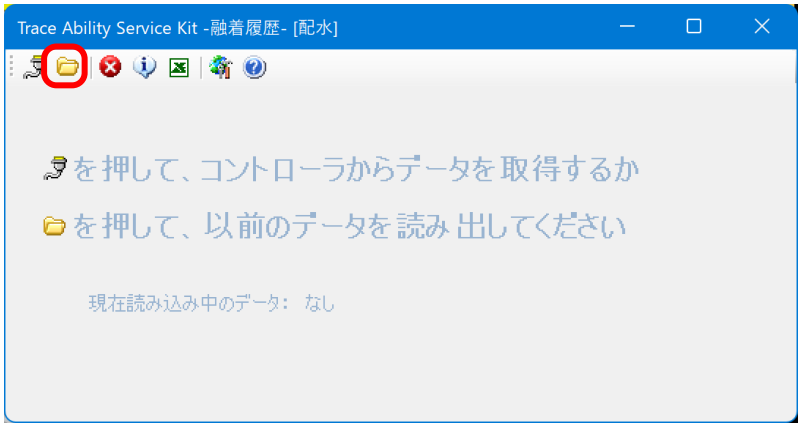
- 一度履歴を取得すれば、再度別の履歴を取得するか読み出す、または本ソフトを終了しない限り、メイン画面のエラー履歴表示ボタンや融着履歴表示ボタンをクリックすることで、いつでもデータを表示することが出来ます。

V. 以前取得した履歴を呼び出す

本ソフトで取得した履歴は、全て自動的に記録され保存されています。ここでは、その保存されている履歴データの読み出し方法を説明します。

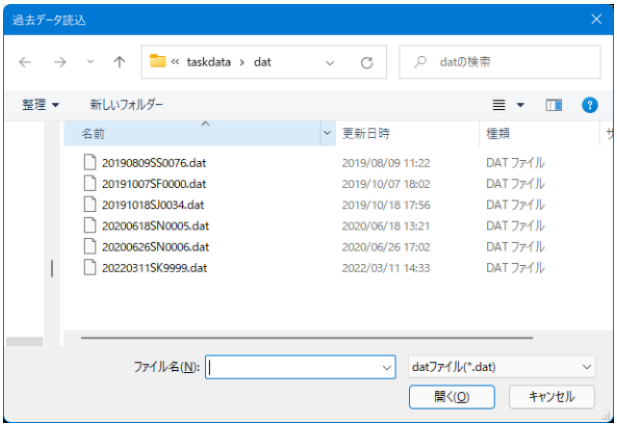
1. 履歴読み出し画面を起動する

メイン画面から、 過去履歴読込ボタンをクリックします。



2. 読み出したいデータファイルを指定する

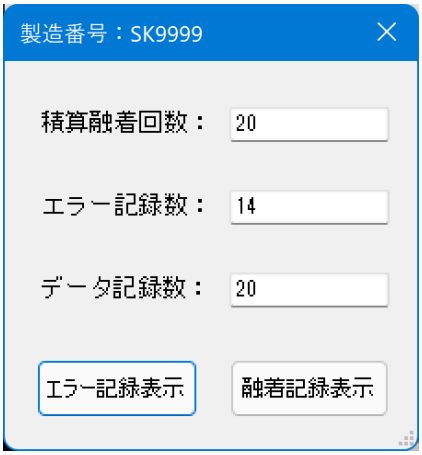
ファイル選択画面になるので、読み出したい融着記録データファイル(.dat)を指定します。



- 最初に表示されるフォルダはフォルダオプションで指定したフォルダになります。
- データファイルの名前は、取得した日付＋製造番号（シリアル番号）になっています。

3. 履歴を閲覧する

履歴の選択が完了すると、以下の画面になります。「エラー記録表示」「融着記録表示」のそれぞれ閲覧したい方を選んでクリックして下さい。

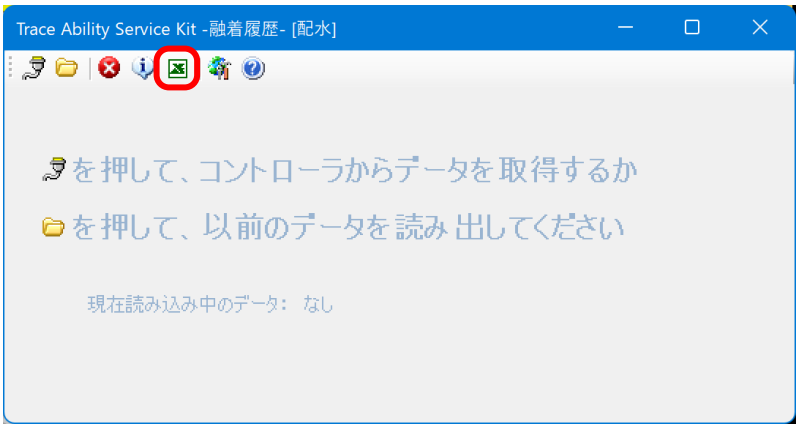


- 一度履歴を読み込めば、再度別の履歴を取得するか読み出す、または本ソフトを終了しない限り、メイン画面のエラー履歴表示ボタンや融着履歴表示ボタンをクリックすることで、いつでもデータを表示することが出来ます。

VI. CSV または Excel ファイルに変換する

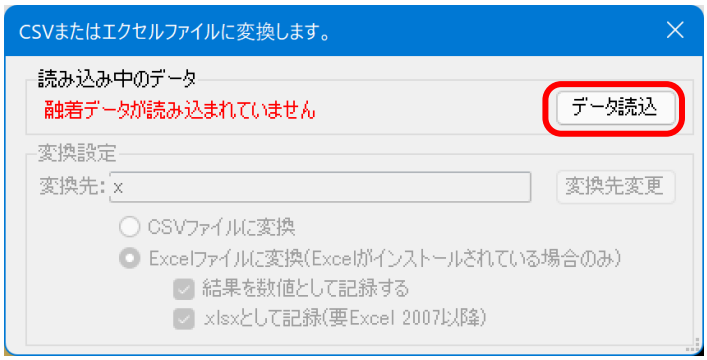
1. データ変換画面を起動する

メイン画面から、CSV・エクセル変換ボタンをクリックしてデータ変換画面を読み出します。

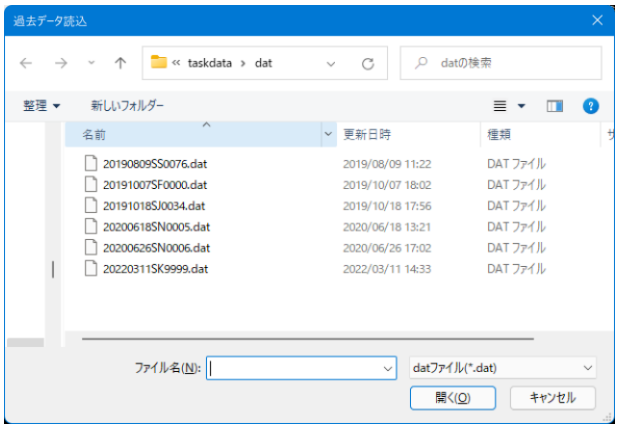


2. 変換するデータファイルを指定する

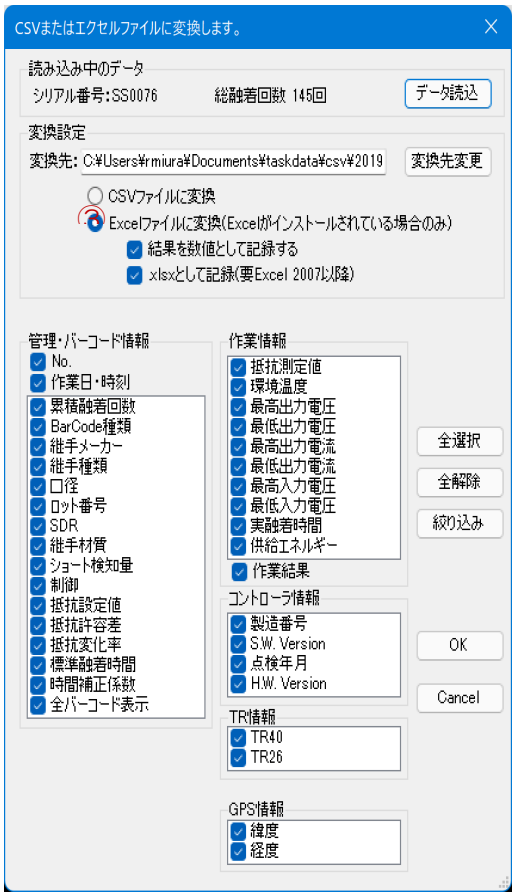
① データ読込ボタンをクリックして、変換するデータを読み込みます。
既に融着履歴取得や過去履歴読込でデータを読み込んでいる場合は、3. 変換するデータの種類を指定するに進んでください



② ファイル選択画面になるので、変換するファイルを選択して下さい。

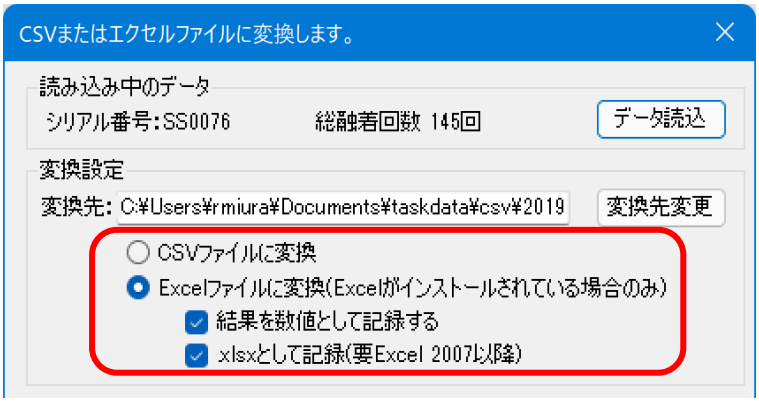


- 最初に表示されるフォルダは[フォルダオプション]で指定したフォルダになります。
- データファイルの名前は、取得した日付＋製造番号（シリアル番号）になっています。
- データが読み込まれると、データ読込ボタンの右側にデータ内容が表示され、ウィンドウが拡大して項目設定エリアが表示されます



3. 変換するデータの種類を指定する

データを CSV ファイルに変換するか、Excel ファイルに変換するかを選択します。
Excel ファイルに変換するには Excel がインストールされていることが必要です。



- 「結果を数値として記録する」にチェックを入れると電流・電圧値など一部のデータが文字列ではなく数値として記録されます。
  Excel ファイルに変換する場合のみチェックすることができます。

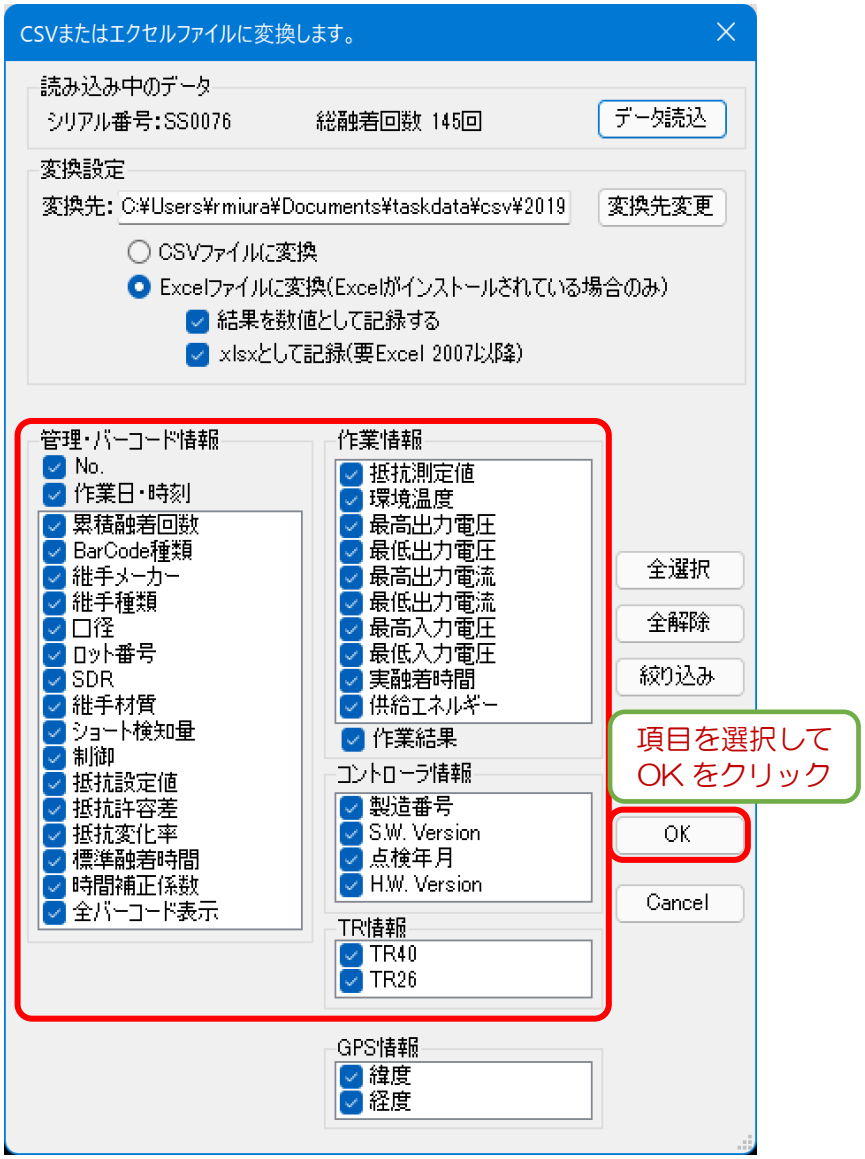
- 「.xlsx として記録」にチェックを入れると、.xls 方式（従来の Excel）ではなく.xlsx 方式（Excel2007 以降の標準方式）で記録されます。
  Excel2007 以降がインストールされていないとチェックできません。

- 変換先は フォルダオプションで指定されたフォルダに以下のルールで自動設定されます。
  - ファイル名： 読み込んだファイル名の拡張子部分を下記に変更
    （通常は取得日付＋シリアル番号を自動設定）
  - 拡張子： .csv or .xls or .xlsx （選択により変化）
  - 重複： 同じファイル名が存在したときは、ファイル名の後に「-数字」を追加

- 表示されているものと違うデータを変換したい場合は、「データ変換」ボタンをクリックしてデータ読込をやり直してください。

4. 変換データの項目を指定する

融着履歴データのうち、変換するファイルに残す項目を選択します。ここで選択された項目のみが、変換されたファイルに記載されます。項目選択を終えたら、「OK」をクリックします



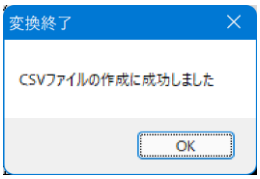
- 表示される内容は、コントローラの機種により一部異なります。
- 「絞り込み」ボタンにより、データを絞り込んで変換することもできます。
  指定方法など詳細は、Ⅲ．画面説明のデータ変換画面をご覧下さい

5. データ変換を完了する

2．変換するデータを指定するで指定したデータ形式により多少動きが異なります。

① CSV ファイルを指定した場合

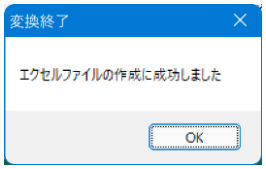
以下の画面が出て、変換が終了します。「OK」をクリックするとメイン画面に戻ります。

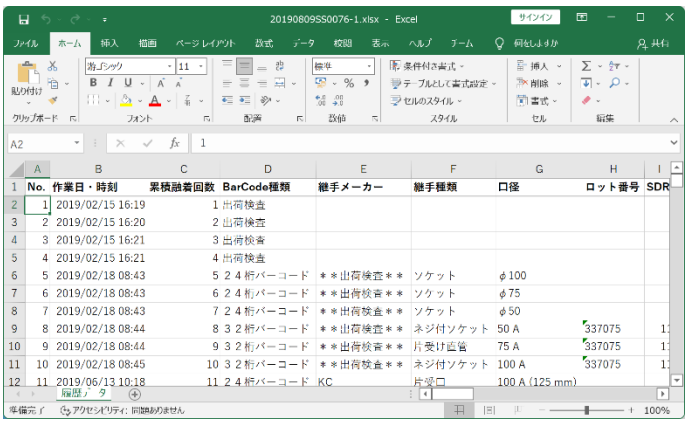


- データが保存されているフォルダは3．変換するデータファイルを指定するで指定したフォルダ（変換先を変更しなかった場合はフォルダオプションで指定したフォルダ）です。

② エクセルファイルを指定した場合

自動的に Microsoft Excel を起動して、ファイルの変換が始まります。変換が終了すると、以下の画面と変換された Excel のデータが表示されます。





- 表示内容はお使いの機種及び「４．変換データの項目を指定する」で指定した内容によって変わります。
- お使いの Excel や OS のバージョンなどにより画面表示は変わります。
- Excel の操作方法等はお手持ちの Excel のヘルプを参照いただくか、Microsoft のサポート等をご利用下さい。
- データが保存されているフォルダは3．変換するデータファイルを指定するで指定したフォルダ（変換先を変更しなかった場合はフォルダオプションで指定したフォルダ）です。
- Excel は「OK」をクリックしても起動したままですが、データは記録されていますので、すぐ閉じても問題ありません。もちろん、続けて編集することも出来ます。

Ⅶ.故障かなと思う前に

よくある症状と対策をまとめました

症状	原因	対策
「専用 USB ケーブルが見つかりません」とエラーが出る	1.専用 USB ケーブルが接続されていない	1.専用USBケーブルが確実にPC とコントローラに接続されていることを確認してください。
	2.ケーブルドライバが正常にインストールされていない	2.Ⅰ.2.ケーブルドライバのインストールを参考に再度ケーブルドライバをインストールしてください。
	3.USB ハブを介した接続になっている	3.USB ハブの使用は推奨しません。やむを得ない場合は、できるだけ PC との間に挟むハブの数を少なくしてください。
履歴データの受信が開始されない	1.ケーブルが正常に接続されていない	1.専用 USB ケーブルが確実にPC とコントローラに接続されていることを確認してください。
	2.履歴ソフトが接続待機状態になっていない	2.Ⅳ.3.接続待機状態にするを参考に接続待機状態にしてください。
	3.コントローラが送信状態になっていない	3.GEF200B 及び MEF200 はコントローラ側の操作が必要です。Ⅳ.5.履歴の送出を開始するを参照してください。 そのほかの機種では、コントローラの漏電ブレーカを off⇒on にすると送信が始まります。 （電源ボタンは押さない状態）
Excel ファイルへの変換機能が使用できない	1.PC に Microsoft Excel がインストールされていない	1.Excel 変換機能の使用には Microsoft Excel がインストールされている必要があります。（WEB 用 Excel では使用できません） Excel をインストールしていただくか､CSV への変換をご検討ください。
画面印刷ができない	1.PC にプリンタがインストールされていない。もしくはプリンタドライバが正常に動作していない。	1.PC にプリンタをインストールしてください。インストール方法はプリンタのマニュアル等をご参照ください。